

3. 中期計画

3.1 第2期中期計画（2017年度～2022年度）における2019年度計画と実績

3.1.1 2019年度計画の概略（石川県公立大学法人 2019年度計画 概要版より）

計画策定の基本的考え方

■第2期中期計画（6年間）の3年目にあたる平成31年度は、中期計画の3つの柱「大学教育機能の強化」「地域連携・地域貢献機能の強化」「ガバナンス機能の強化」に基づき、教育研究機能の改善に係る方策を引き続き検討するとともに、志願者確保等の喫緊の課題に対する対応策を重点的に検討した。

中期計画の3つの柱に関する取組み

項目	看護大学	
	内容	
I. 大学教育機能の強化 - 社会ニーズに応じた教育の提供 - 学生の学びの質向上	①学部教育の充実	○平成30年度に改訂したカリキュラムの運用開始 →科目の統廃合、1科目当たり時間数の統一 →アカデミックリテラシー科目の新設 ○「タイ・韓国看護研修」の充実 ※H31から科目単位化 →現地研修の期間・内容を強化、事前学修に母国語講座導入
	②大学院教育の充実	○新たな高度実践看護師教育導入に向けた検討 ○内部進学者の受け入れ強化
	③キャリア教育の充実	○全学年を対象としたキャリア形成に関するセミナーを開催
II. 地域連携・地域貢献機能の強化	④産学官連携の推進 社会人教育の充実 等	○感染管理認定看護師養成課程(H32開始予定)の開設準備 ○地域での在宅看護に関するスキルアップ研修の充実 ○いきいきシニアステーション(かほく市)での公開講座の開催
III. ガバナンス機能の強化	⑤学生募集に関する組織体制の強化	○広報組織体制の強化 →広告業者、学生広報委員を含む包括的な組織体制構築

その他の主要な取組み

項目	看護大学	
	内容	
IV. 志願者確保対策	①広報活動の充実	○各広報媒体を統一的にリニューアル →ホームページ、大学案内、大学新聞 ○学生広報委員の充実
	②入試制度の見直し	○2021年度入学者選抜(2020年度実施)に関する情報収集及び新たな入試制度の検討
V. グローバル化の推進	③海外研修の充実 語学力の強化 情報発信力の強化 等	○アメリカ、タイ、韓国における看護研修を開催 ○学生及び教職員の語学力強化 →「語学推進ワーキンググループ」新設
VI. 学修環境の整備	④システム等の充実	○WEB出願システム及びWEBシラバスの導入による利便性向上と事務効率化
	⑤学生支援制度の充実	○国の高等教育無償化施策への対応 →授業料等減免制度のあり方検討、国の財政支援措置の対象となるための確認申請書の提出 等 ○修学上の困難を抱える学生に対する個別支援体制の強化

3.1.2 2019年度実績の概略

(石川県公立大学法人 2019年度業務実績報告書の概要より抜粋)

石川県立看護大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育課程の充実

(1) 新カリキュラムの運用開始

- ・アカデミックリテラシー科目（基本的能力の強化）の運用開始
- ・科目の統廃合、科目内容の刷新、1単位あたりの時間数の統一を実施

(2) 大学と臨床機関との連携強化

- ・臨床教授等との意見交換会を開催
- ・臨床教授等称号付与制度についてのアンケート調査を実施

(3) グローバル化の推進

- ・タイ・韓国看護研修を新たに科目として単位化
- ・アメリカ看護研修の事前英語講座の充実
- ・看護研修後の英語力強化のためネイティブ教員を招聘
- ・韓国看護研修の事前学習として韓国語講座を実施
- ・語学力推進ワーキンググループを設置して学生・教員の語学力強化を支援

(4) 大学院教育の充実

- ・新たに研究コースに学内選抜枠を設けて入試を実施
- ・初の修了生を輩出する助産師養成課程の学事日程と従来の学事日程の調整
- ・大学院教育懇談会の開催

2 教育実施体制の充実

(1) 教育資材の改善

- ・図書館スペースの有効活用に向けた書架配置の見直し
- ・無線LAN (Wi-Fi) 設置教室のさらなる拡充

(2) 自学自習の環境整備の推進

- ・新たな図書データベースの導入を決定
- ・文献検索の講習会を実施

3 学生への支援

キャリアイメージの早期形成への支援

- ・全学年対象に学生セミナーを開催

4 研究の推進

研究体制の改善

- ・若手研究者のための対面相談の体制を新設

5 地域貢献及び国際貢献の推進

(1) 地域連携事業の充実

- ・ 来人喜人健康づくり事業（能登町）を実施
- ・ 棚田が織りなす食・緑・健康の郷づくり（津幡町）を実施
- ・ か歩く健康ウォーキング事業（かほく市）を実施
- ・ かほく市いきいきステーションを活用した地域公開講座を実施

(2) 地方創生推進事業(COC+) の推進

- ・ 大学コンソーシアム石川の事業に参画し、グローバル人材を育成

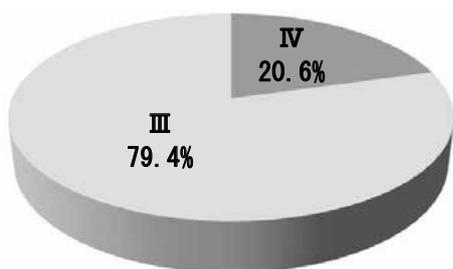
(3) 認定看護師の養成

- ・ 感染管理認定看護師教育課程の開設準備

(4) 国際貢献事業の推進

- ・ JICA日系研修（パラグアイ）、青年研修（カンボジア）を実施
- ・ JICAパラグアイとの草の根技術交流事業採択

項目別評価の状況



項目	IV	III	II	I	計
教育	3	21	0	0	24
研究	0	3	0	0	3
地域貢献	3	1	0	0	4
グローバル化	1	2	0	0	3
計	7	27	0	0	34

※ IV…年度計画を上回って実施している。 III…年度計画を順調に実施している。
II…年度計画を十分には実施していない。 I…年度計画を実施していない。

業務運営の改善・効率化に関する目標

- 1 両大学間連携の推進
 - ・ 合同FD研修会及び合同研究発表会の開催
 - ・ 両大学の共同研究の促進
- 2 ガバナンス体制の強化による大学改革の推進
 - ・ 語学力推進ワーキング、働き方改革ワーキングを新たに立ち上げ
- 3 事務組織等の整備と効率化
 - ・ WEB出願システムの導入
 - ・ グループウェアを活用した教室・備品の予約システムを導入
- 4 教育研究組織体制の改善
 - ・ 基礎科学教育拡充ワーキングで組織の点検、検証を実施

財務内容の改善に関する目標

- 1 外部資金の獲得
 - ・ 科学研究費補助金の採択増
前年度比+16,040千円
- 2 志願者の増加に向けた取り組み
 - ・ 奥能登地域における中学生を対象としたナーシングサイエンスカフェを実施
 - ・ アドミッションアドバイザーの意見をもとに学生募集活動を展開
 - ・ 高校訪問の時期等の見直し

自己点検評価及び情報提供に関する目標

- 1 大学活動に関する情報発信を推進
 - ・ 広報媒体の統一的リニューアルを実施
 - ・ 学生や教員に大学の魅力等聞き取りを行い、情報発信のポイントを整理

その他業務運営に関する目標

- 1 施設設備の計画的な更新
 - ・長期修繕計画に基づいて空調設備を更新
 - ・備品整備計画に基づいて教育研究用備品を更新
 - ・図書館情報システム等の情報システム機器を更新

- 2 全学的な安全衛生管理体制の整備
 - ・新型コロナウイルス感染拡大に際して、学生へ注意喚起や感染防止対策を実施